幻想世界に誘うかのような魅惑の声をもつ3人の歌姫

劇場版「空の境界」第六章 忘却録音 主題歌

「fairytale」を歌うKalafina

梶浦由記がプロデュースを務めるKalafinaの3rdシングルは幻想的なバラード。彼女は、独特の世界観を造る「空の境界」のエキスパートのひとりにして主題歌を担うWakana、低音ボイスで魅了するKeiko、主題歌と高音のハーモニーを奏でるHikaruの3人。

「原作を読んで以来、ずっと鮮花ちゃんが活躍する章を楽しみにしていたので、今から劇場で見るのをものすごく心待ちにしています。主題歌は目を閉じると、まるで森の中にいるような甘酸っぱさがほのかに香るような世界が広がると思います」（Wakana）

「今回の第六章はこれまでの章とはひと味違ったお話なので、それにふさわしいバラードです。鮮花ちゃんと幹也さんの関係だったり、かわいいだけではない妖精の気配みたいなものが盛り込まれた楽曲と歌詞だと感じています」（Keiko）

「Keikoの言うとおり、妖精の気配というかこれまでにない静かな、どこかおどろおどろしいけれどきれいなメロディもある曲です。クリスマスライブのリリースなので、Kalafinaからのクリスマスソングとしても楽しんでもらえたらと思っていました」（Hikaru）

「最後、ピアノや弦と異なる楽器を使うんですが、今回はベルを使っているのもクリスマスっぽいかも」（Keiko）

同時にこんな思いも告白する。

「とても人気のある作品なので、主題歌を歌うことに大きなプレッシャーがありました。梶浦さんが楽曲に込めた原作への思いを、どのくらい声に乗せて届けることができるのか？ そのことだけを心がけました」（Wakana）

「だから、劇場で私たちの歌が流れたときは感動でした！」（Keiko）

「すっかり映画に見入っていたので実はびっくりしました（笑）」（Hikaru）

最後にこんなひと言を。

「アーティストとしての、毎回違うKalafinaの歌を聴いていただけたら、それがいちばん幸せです」（Wakana）



劇場版「空の境界」全七章のために誕生した、梶浦由記プロデュースのプロジェクト。各章により、毎回違う歌姫が登場。その全貌はいまだ謎。第六章はWakana（左）、Hikaru（中）、Keiko（右）が世界を伝える。全章の主題歌収録のアルバムが3月4日発売



「fairytale」

Kalafina

SMEレコーズ

初回生産限定盤 [illegible]

[illegible] 発売中

CD+DVDの初回生産限定盤、CDのみの通常盤。第六章「忘却録音」主題歌「fairytale」、書き下ろし新曲「serenato」ほか収録

Shot by FUMIO KANAZASHI text by YOKO OOCHI